

【格付け維持】 早稲田大学

発行体格付け： AA+ [格付けの方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け維持の理由】

在籍者が5万人を超える日本有数の総合大学で、「私学の雄」として国内での知名度はきわめて高い。1882年に大隈重信が創立した「東京専門学校」を前身とし、「学問の独立、学問の活用、模範国民の造就」を建学の理念として発展してきた。入学志願者数は全国1位の座を保っており、グローバルCOEプログラムでは私立大学としては最多の拠点数の採択を受けるなど研究面でも評価が高い。

2007年度に創立125周年を迎えたのを機に、新しい中長期計画「Waseda Next 125」を策定した。「早稲田」から「Waseda」への飛躍を図り、「グローバルユニバーシティ」としての地位を確立することを2008年度以降の10年間の課題と位置づけている。

現在作成中の中長期的な財政計画は、「Waseda Next 125」や外部資金の導入、事業収入の確保など、総合的に考慮した内容になる。新事業に際しては資金的な裏付けを考慮し、収入との見合いで事業を推進する。また、PDCAサイクルを織り込んで、事業の進行中にも絶えず予算執行の有効性を検証していく。「Waseda Next 125」は早稲田大学が目指すべき姿を描いており、一時的には将来のために先行投資が必要な局面も起こり得る。ただ、チェックシステムを組み込むことで、収入の裏付けのない事業の進展には一定の歯止めがかかると考えられる。

【格付け対象】

発行者：早稲田大学

名称	格付け	格付けの方向性
発行体格付け	AA+ (維持)	安定的

☆発行体格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見で、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務(債券やローンなど)の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることもある。